

JVCAからのお知らせ

1. 勉強会等のご案内

◆JVCA定例勉強会

原則として月1回、VC会員の代表者対象の勉強会、全会員の実務担当者対象の勉強会を交互に開催しております。この4か月間に開催された勉強会は以下の通りです。

第17回 (9月30日開催)

テーマ 「日本の大型小売店の問題点～特にGMSに関して～」

講師 株式会社システムインターナショナル 代表取締役会長 荒井 好民 氏

第18回 (10月28日開催)

テーマ 「株式会社ジャスダック証券取引所の現状と展望
～バリュー・クリエーション・マーケットに向けて～」

講師 株式会社ジャスダック証券取引所 代表取締役社長 筒井 高志 氏

第19回 (11月30日開催)

テーマ 「バイオベンチャーの技術評価」

講師 エヌ・アイ・エフSMBCベンチャーズ株式会社
テクニカルアドバイザー 本間 靖 氏

第20回 (12月13日開催)

テーマ 「投資サービス法について」

講師 ミレニア・ベンチャー・パートナーズ株式会社
代表取締役社長 黒柳 達弥 氏

2. 新規会員紹介 (平成17年9月1日～平成17年12月20日)

賛助会員

エイジックスプロフェSSIONALSグループ
AZX Professionals Group
コンピタント株式会社

URL:<http://www.azx.co.jp>

URL:<http://www.exbuzzwords.com>

(五十音順)

3. 会員の社名変更

(10月1日付)

エヌ・アイ・エフSMBCベンチャーズ株式会社 ← (旧) エヌ・アイ・エフ ベンチャーズ株式会社

三菱UFJキャピタル株式会社 ← (旧) 株式会社 UFJキャピタル

(11月1日付)

MUハンズオンキャピタル株式会社 ← (旧) つばさハンズオンキャピタル株式会社

(五十音順)

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.7

■発行日 平成17年12月20日

■発行 有限責任中間法人 日本ベンチャーキャピタル協会
〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング
TEL: 03-3595-6616 FAX: 03-3595-6617
E-mail: jimukyoku@jvca.jp URL: <http://www.jvca.jp/>



立岡会長、金融審議会金融分科会第一部会で専門委員として発言 ～投資サービス法制関連～

「投資サービス法(仮称)」制定の動きに関し、JVCAではかねてより要望書の提出等によりVC業界への理解を得るべく活動を続けてきましたが、今般、11月2日付でJVCAの立岡会長が金融審議会金融分科会第一部会の専門委員に任命され、公式に発言する機会を得ました。「集団投資スキーム(ファンド)」と「業規制」が議題となった11月24日開催の同部会の席上、立岡会

長はVCとVCファンドについて説明の上「プロとプロとの間の合意に基づいて組成・運用されているVCファンドに対し、一般消費者向けのファンドと同様の規制をかけることによってVC業への参入やベンチャー企業向けの資金の流れを滞らせることが無いように配慮をお願いしたい。」との意見を述べました。(2面に関連記事)

ベンチャーキャピタリスト研修の募集 締め切り迫る!

JVCAでは、今年度も比較的経験の浅いVCの投資担当者を主な対象に、「ベンチャーキャピタリスト研修」を開講します。同研修の募集期間は12月26日(月)までとなっておりますので、

受講を希望されてお申し込みがお済みでない方は、お急ぎの上申し込みください。(実施概要等については2面、あるいはJVCAのHPをご参照下さい。)

韓国VC協会との交流

11月15日、JVCAの立岡会長が韓国のVC協会を訪問し、日韓それぞれにおけるVC発展の経緯と現状および今後の課題について情報交換を行いました。韓国側は日本のベンチャー企業に

対する出資と日本の投資家による韓国のベンチャー企業への出資、どちらも関心が高く、今後の交流を通じて相互の発展に向けて協力していく意志を確認しました。



■左から丁常勤副会長、高会長、立岡会長、朴副会長(普光創業投資社長)

【韓国VC協会の概要】

正式名称(略称)	Korean Venture Capital Association (KVCA)
設立時期	1989年9月27日
所在地	15-15, Yoido-Dong, Youngdeungpo-ku, Seoul, Korea
代表者	高晶錫氏 (Jeong-Suk Koh) 日進創業投資 (ILSHIN INVESTMENT CO., LTD.) 社長
会員数	90余社のVC及び新技術金融会社



〈税務委員会〉

◆ 税制改正要望 ◆

【経済同友会との意見交換会】

(8月30日)

社団法人経済同友会（以下、同友会）との間で、ベンチャー企業に関する税制についての意見交換会が開催されました。JVCAからは立岡会長・山村副会長・広瀬常務理事（税務委員会委員長）・尾崎常務理事が出席し、「総括的な要望ではなく、データを根拠とし、重点的に挙げていくべき項目を双方が連動する内容の要望書にまとめ上げていく」こととなりました。

【自民党税制調査会へ税制改正の要望書提出】

(9月27日)

「平成18年度税制改正に関する要望書」を自民党税制調査会宛に提出しました。内容は、JVCA会員からの要望を中心にベンチャー支援、投資促進等の視点から法人税・法人事業税・所得税に触れたものとなっています。

【自民党代議士を訪問】

(12月2日)

上記要望書に基づいて、立岡会長が自民党代議士を訪問しました。要望の中で、業績連動型役員報酬・賞与の損金算入、および税制適格ストック・オプションの適用対象に執行役員を追加することに一定の理解を得られました。

〈法務委員会〉

◆ 投資サービス法（1面の関連記事） ◆

11月10日開催の第87回（ディスクロージャーについて）と11月24日開催の第38回（集団投資スキーム、業規制について）の同部会では、意見書を提出しました。内容はJVCAのHPおよび下記の金融庁のサイトにアップされます。

http://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/base.html

JVCAは、今後も投資サービス法の制定によってVCによるベンチャー投資が滞ることが無いよう、各方面からの理解を得るべく活動を続けます。

〈調査・教育委員会〉

◆ ベンチャーキャピタリスト研修の募集 締切迫る！（1面より続き） ◆

《ベンチャーキャピタリスト研修の実施予定》

回	テーマ	講師	日時（※）
1	ベンチャーキャピタルの仕組みとベンチャーファイナンス	秦 信行（國學院大學）	1月29日（日）午前
2	デューデリジェンス&バリュエーション ①投資機会の検討	篠原 浩（三菱UFJキャピタル）	1月29日（日）午後
3	デューデリジェンス&バリュエーション ②バリュエーション	有本雄観（日本アジア投資）	2月5日（日）午前
4	デューデリジェンス&バリュエーション ③総合	佐護啓生（エヌ・アイ・エフSMBCベンチャーズ）	2月5日（日）午後
5	ディールストラクチャー	深川哲也（クレセント・パートナーズ）	2月12日（日）午前
6	付加価値サービス	近藤直樹（日興アントファクトリー）	2月12日（日）午後
7	投資回収（Exit）①IPO	仮屋蘭聡一（グロービス・キャピタル・パートナーズ）	2月19日（日）午前
8	投資回収（Exit）②Trade Sales	原口直道（オリックスM&Aソリューションズ）	2月19日（日）午後

（※）いずれも2006年。応募人数多数の場合は、別途1コースを追加する予定。

◆ ベンチャーキャピタリスト検定日程 決定 ◆

昨年度に引き続き、ベンチャーキャピタリスト検定を実施することとなりました。実施日は2006年3月5日（日）で、今回は受検の申込みを頂いた方に事前学習のための参考資料「平成17年度JVCAベンチャーキャピタリスト検定 サイ

ドリーディング」をお送りする予定です。募集要項は近々、JVCAのHP等でお知らせします。

スキルアップのツールとして、ぜひご活用下さい。

◆ JVCA/JASDAQ IPO SCHOOL開催 ◆

この度、当協会の賛助会員でもあるジャスダック証券取引所の協力により「JVCA/JASDAQ IPO SCHOOL」を全3回にわたって開催することとなりました。VCの投資担当者を対象とした当勉強会では最新の知識と情報を得られる

他、ベンチャー企業支援に関わる実務者の人的ネットワークの構築の機会でもあります。積極的にご参加ください。

※対象はJVCA会員会社に所属して投資および投資支援業務経験3年以上の方となっております。

開催日	第一部	第二部
2005.11.24 (開催済)	Going Public ～株式公開に向けて～ 野村証券株式会社 公開引受部 次長 蟹江 康夫 氏	最近のジャスダック証券取引所の概要 株式会社ジャスダック証券取引所 プロモーション部 課長 三宅 綾 氏
2006.1.26 —予定—	資本政策について ～ストックオプションと従業員持株会を中心に～ 大和証券SMBC株式会社 公開引受部 次長 佐野 洋 氏	公開に向けた利益管理と会計制度の整備 監査法人 トーマツ IPO支援室 社員 公認会計士 阪田 大門 氏
2006.3 —予定—	公開に向けた監査制度の整備と内部統制の考え方 監査法人 トーマツ IPO支援室 社員 公認会計士 森田 浩之 氏	公開に向けたディスクロージャー体制の整備 (証券会社)

◆ 中小機構との意見交換会 開催 ◆

(10月28日) JVCAの賛助会員でもある中小企業基盤整備機構（中小機構）より小紫正樹理事他を迎え、VC会員との意見交換会が行われました。

席上、中小機構側より「ベンチャーファンド」の他、「がんばれ！中小企業ファンド」、「再生ファンド」への投資実績が示された上で、今後はファンドへの出資・インキュベータ事業・専

門家派遣を組み合わせた支援を積極的に進めたい旨の意見が表明されました。JVCA側より、「ベンチャーファンドの投資先の条件緩和」等について質問が相次いだのに対し、「これまでの経験を活かしてより活用しやすいファンドとなるよう、業種毎の特性も考慮に入れ、改善していく」との姿勢が示され、有意義な意見交換がなされました。

◆ ベンチャーフェアJAPAN2006へ出展 ◆

JVCAは、公的機関による日本最大級のベンチャーマッチングのフェア「ベンチャーフェアJAPAN2006」に支援機関として出展します。今回は第8回目の開催となり、例年より開催日を1日増やした3日間の開催で3万人の来場が見込まれています（2005年実績は2.6万人）。

《ベンチャーフェアJAPAN2006開催概要》

主催：独立行政法人 中小企業基盤整備機構
会場：東京国際フォーラム 展示ホール1・2
開催日時：2006年1月17日～19日 10:00～17:00
出展予定者数：240
詳細案内：<http://www.vfj2006.com/index.html>